

中休みに出てくる、ふしぎな生き物

町田第一小学校 三年

ひろせ
廣瀬 かな

ある日わたしは、友だち（大親友）と、お話をしていた。すると、大親友のことねちゃんが、

「ねえねえかなちゃん」そういわれて、「え？なあに」とわたしは聞きかえた。ことねちゃんがいきなり「あの・・・三年生になってしらないのはおかしいのかもしれないけど、星ってどうゆう物なの？」

ことねちゃんが「どうゆう物なの？」と言ったしゅんかんに、ことねちゃんの顔がかあつと赤くなった。「くすくすくすくす」わたしが、ことねちゃんの顔が、めっちゃくちや赤いのが、おもしろくてわらったら、

「もう！かなちゃんわらないでよ！」

「ごめん」わたしは、ひつしにわらいをこらえながら「いいいいいよおしえてあげる」と言った。「星はね・・・」そう言おうとしたしゅんかんになんかおかしなきいろいぶったいがおちてきた。（何？ このへんな生き物みたいなやつ）たぶん、ことねちゃんも同じことを思っていたのかな？ ことねちゃんも、目を大きくして、口をぽかんとあけて、何かを考えている様子だった。わたしたちが、そのぶつたいにびっくりして、頭がまっしろになっていたのは、一分くらいの間だったんだと思うけど、その時間が、わたしには、すごくなぐ感じた。するととつぜん、へんな星がわたしたちのめのまえにきた。するといきなり星がしゃべりだした。

「ぼくはほしのしほだよ。ほしだからさかさにしてしほ。なーんちゃって、たまたま、たまたま。」

ことねちゃんは、びっくりしすぎてかちんこちんにかたまっていた。しばらくするとことねちゃんが、

「あーとあなたたつ何物？」と言うとしほが

「ほしもの。だけどあなたじゃなくてぼくのことしほってよんでよね」わたしたちは、大ばくしょうしてしまった。でもそのしゅんかんの中休みのチャイムがなった。するとしほが、「もうかえらなきや」そう言った。そう言っ

審査員賞

廣瀬かな「中休みに出てくる、ふしぎな生き物」

審査員賞

廣瀬かな「中休みに出てくる、ふしぎな生き物」

たとき、ことねちゃんが「えっ？ どうして？」と聞いた。するとほし・・・
じやなくてしほが、

「だってぼく、中休みのスターだもん！」しほの言葉にことねちゃんはぼう
ぜんとしている。しばらくするとことねちゃんは、「あー？そう。バイバー
イ。またいつか！」とバイバイしたのは一か月前のこと。さいきんほしの話
をしても、しほは出てこなくなった。ある日、うちに手がみがとどいた。そ
れは、しほはから。手がみには、こんなことが書いてあった。

「きみへ

このまえはありがとう。ぼくは今、大人になって、りっぱにかがやいている
よ

しほ」

わたしはこの手がみをよんで、夜空をみ上げた。するとしほが、わらった
ように見えた。

(1045文字)

審 査 員 講 評

出てくるキャラクターが全員とおしいです。単にス
トーリーが進んでいくだけではなく、台詞や表情など
のがよく伝わってきました。中休みに星が現れるとい
う発想は、大人にはなかなか出てこないものだと思います。

—— 藤岡みなみ